

「交通事故死ゼロを目指す日」について

はじめに

皆さんは、交通事故に関して正しい知識を身につけているか、ここでクイズに答えてみてください。

問1 年間、交通事故死者はどれくらいの割合で発生しているでしょうか。

- ① 30分に一人
- ② 90分に一人
- ③ 240分に一人

問2 年間、ドライバーが交通事故の第一当事者になる割合は何人に一人でしょうか。

※ 第一当事者…交通事故の原因となる過失の大きい方、又は、過失が同程度の場合には人身被害の軽い方をいう。

- ① 50人に一人
- ② 100人に一人
- ③ 500人に一人

問3 運転開始後、交通事故発生までの所要時間で最も多いのは何分以内でしょうか。

- ① 30分以内
- ② 30～60分以内
- ③ 60～180分以内

問4 交通死亡事故発生直前の速度で最も多いのは時速何キロでしょうか。

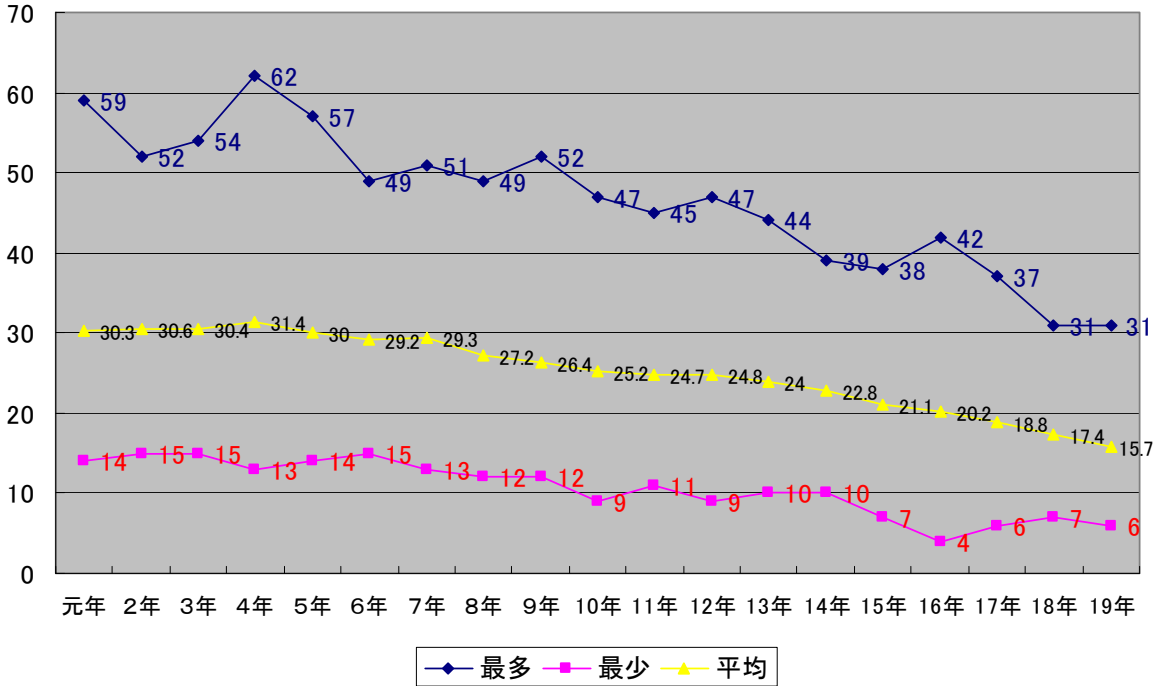
- ① 40km/h以下
- ② 40～80km/h以下
- ③ 80～100km/h以下

※ 正解は文末にあります。

交通事故死ゼロへの挑戦～新たな国民運動

昨年の交通事故による死者数は、5,744人。昭和28年以来54年ぶりに5千人台後半まで減少したものの、記録が残る昭和43年以降、交通死亡事故が発生しなかった日はありません。また、負傷者数は9年連続して100万人を超えるなど、交通事故のない社会づくりは国民が安心できる生活を築く上で最も重要な課題の一つと言えます。

1日当たりの交通事故死者数の推移



福田内閣では、国民が安心して生活できるよう「生活安心プロジェクト」を立ち上げ、4つの国民運動の一つとして悲惨な交通事故撲滅に向けた「交通事故死ゼロを目指す日」が設定されました。

平成20年は、2月20日と4月10日の二日間です。交通安全に対する国民の意識の向上を図り、国民一人ひとりが交通事故に注意して行動することにより交通事故の発生を抑止し、近年の交通事故死傷者数の減少傾向をより確実なものにしたいと考えています。

岸田大臣による広報啓発キャンペーン



都内の小学校にて交通安全教育を実施



街頭キャンペーンにてパンフ・啓発品を配布

ルールとマナー～事故のない社会の実現を

交通事故を未然に防止するためには、交通ルールを守り、交通マナーを実践することが不可欠です。特に子どもは、自宅近くや通学路で飛び出しによる事故に遭うことが多いので、家庭でしっかりと交通安全教育をすることが大切です。車道は危険がいっぱいです。親子で歩いて、子どもの目線で何が見えるか、何が見えないのかを親が知り、危険箇所を教えてあげてください。

また、歩行中は必ず反射材を身につけましょう。車はヘッドライトを下向きにして走行しています。だから、反射材も足・靴など下半身に貼ることがポイントです。

もちろん、車に乗る人も「当たり前」のことを「当たり前」に行うことが大切です。そう、シートベルト・チャイルドシートの着用です。後席でシートベルトを着用すると、「俺の運転が信用できないのか。」という人がいます。常識と非常識が逆転していますよね。昨年一年間で自動車乗車中に死亡した方の49.7%がシートベルトをつけていませんでした。特に後席は着用率が低く、昨年、後席で死亡した方の84.0%がシートベルトをつけていませんでした。

時速40km/hで衝突した場合、乗員にかかるエネルギーは最大で体重の30倍になります。あなたは、前に進もうとする2トン前後の力をシートベルトなしで支えられますか。家族を守れますか。

人は一生のうち、二人に一人が交通事故に遭うと言われています。決して他人事ではありません。公道を歩く者の、走行する者の責任として、交通安全について今一度考えてみませんか。

答1 ② 90分に一人の割合で亡くなっています。

※ $525,600 \text{ 分} \div 5,744 \text{ 人} \approx 91.5 \text{ 分} / \text{人}$

答2 ② 100人に一人の割合で交通事故を起こしています。

※ $\text{免許保有者 } 7,990 \text{ 万 } 7,212 \text{ 人} \div \text{発生件数 } 83 \text{ 万 } 2,454 \text{ 件} \approx 96.0 \text{ 人} / \text{件}$

答3 ① 30分以内の事故発生が最多です。自宅・会社等慣れた場所付近で多発しています。

答4 ① 40km以下の事故発生が最多です。対歩行者・自転車死亡事故は、この速度域で発生しています。

何問正解できましたか。交通事故に関する正しい知識を持ち、まずはあなたから交通事故のない社会を築いていきましょう。

道路交通事故による交通事故発生件数、死傷者数及び死者数の推移

